

# 3月定例会 個人質問

## 馬越裕正議員

「まちづくり協議会」の組織の進展状況について

**議員** 平成23年度末までに、笠岡市全域をカバーして、24地区での組織化にほぼ目処がつきつつあるようだが、具体的な状況をたずねる。そして、今までに出てきている問題点と今後の課題についてたずねる。

**市長** 市制60周年を迎える4月1日には、すべての地域でまちづくり協議会が設立される見込みである。

今までに出てきている問題点としては、地域の住民全員にまちづくり協議会の設立や活動内容について周知が徹底できていないこと、設立間もない地域では具体的な活動に結びついていないことなどが上げられる。

笠岡市の「情報の発信と受信」政策について

**議員** 1月末の新聞に二つの記事が掲載されていた。「携帯端末ゲーム火付け役」という見出しで北木島特産の魚介の灰干し特需の記事と、東京の大学生が約1ヶ月半、六島に住み込み「振興策を考え、魅力発信」という記事である。この二つの記事から言えることは、情報の発信と受信がいかに重要であるかということだと考える。

本市の情報発信と受信に対する基本的な考え、実際に行っている政策及びその成果と課題についてたずねる。

**市長** 情報発信に対する相手方のアクションが受信であり、情報の発信と受信は表裏一体ではないかと考えている。

主要な取り組みは、ツイッターを利用しての発信、ラジオ番組に職員が出演しての定住に関する情報やイベント情報の発信、さらに、



笠岡市のホームページ

道の駅は笠岡の情報発信拠点として積極的に活用している。

今後、相手が必要な情報をタイムリーに伝えるため、対象者を絞った効果的な情報の伝達等も課題となっている。また、市役所が丸となって情報が発信できる体制を整えていく必要がある。

### スポーツ振興について

**議員** どのスポーツに力を集中するかというのは難しい判断とは思いますが、市制60周年という区切りには、未来の笠岡のスポーツ振興を考へてもいいのではないかと

思い、たずねる。

**教育長** 昨年、スポーツ基本法が施行され、岡山県スポーツ推進条例（仮称）が平成24年度中に策定される。こうした動きを見ながら、本市におけるスポーツ振興策を打ち出していきたくと考えている。それに向けて、昨年11月に笠岡市スポーツ振興審議会を開催し、協議を始めた。

### 蔵本隆文議員

今後の財政見通しと施策について

**議員** 少子・高齢化により、財政を支える世代の負担はますます多くなる中、将来の公共サービスを維持する上で、現時点での施策は重要である。

本市の人口動態予測に伴う課題と、その施策についてたずねる。

**市長** 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は2020年に

は5万人を割り込み、高齢化率も37・4%になるというデータも示されている。

総合的な定住促進政策を進めるとともに、協働のまちづくりを推進し、市民とともに、地域活力の維持、充実など、自らできることを強力に、そして着実に進めていかなければならないと考えている。

**議員** 財源不足であるが、暗いことばかりではない。

その中で行政もやれることはたくさんあると思うが、市長の考えをたずねる。

**市長** みんなでやれば将来こんなすばらしい地域になるんですよということを、もう少し前面に出して訴えていくことが大切であると思う。そして、まちづくり協議会も事業が動いてくる時、それに参画したときの中に出てくると思う。そうなるように、我々行政はそれを支えていく。あくまでも、地域の皆さんが主役であるということが大切だ